

1. 件名：「日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所
第二種廃棄物埋設事業許可申請に係るヒアリング（65）」

2. 日時：令和5年2月15日（水）10時00分～10時40分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

研究炉等審査部門

志間安全規制管理官、菅生主任安全審査官、大塚安全審査専門職、森田
安全審査専門職、加藤原子力規制専門員

技術基盤グループ

放射線・廃棄物研究部門

山田首席技術研究調査官

日本原子力発電株式会社

廃止措置プロジェクト推進室 室長代理 他10名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法令及び通達に係る文書（平成27年7月16日）

「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する第二種廃棄物埋設事業許可申請書を受理」

<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/disclosure/law/WAS/00000045.html>

- ・ 日本原子力発電株式会社 東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 規制法

令及び通達に係る文書（平成28年12月26日）

「日本原子力発電（株）から東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所に関する
第二種廃棄物埋設事業許可申請書の一部補正を受理」

[https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/dis
closure/law/WAS/00000170.html](https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11285463/www.nsr.go.jp/dis
closure/law/WAS/00000170.html)

時間	自動文字起こし結果
0:00:08	それではただいまより、平成 27 年 7 月に申請のありました、日本原子力発電株式会社東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所第二種廃棄物埋設事業許可申請に関するヒアリングを始めたいと思います。
0:00:26	本日も自動文字起こしを使用しますので発言される際には、所属とお名前をお願いいたします。まず出席者の紹介をしたいと思います原子力規制庁から、
0:00:38	研究炉等審査部門より藤安全規制管理官の島、オオツカモリタ a カトウスゴウ、それから放射線廃棄物研究部門から山田が出席しております。
0:00:51	日本原電の出席者の紹介をお願いします。
0:00:57	日本全体のハママツですね、原電側の出席者になりますけれども、最一つプロジェクト推進室から野口室長代理、戸松部長。
0:01:07	コアシグループマネージャーノムラってタナカ大内タケゴシマシモサクマハママツ開発計画室から市原の計 11 名の参加になります。以上です。
0:01:21	規制庁のスゴウですありがとうございます。それでは早速ヒアリング始めたいと思いますが今日は昨日、2 月 14 日に実施しました。
0:01:32	当審査会後のラップアップをしたいと思いますが、昨日審査会合の内容につきまして、
0:01:43	原電の方から何か確認したい事項とかありましたらお願いします。
0:01:51	はい。日本原子力発電のコアシで昨日審査会合ありがとうございました。最初に確認した事項としまして、まず、まず侵食に対する検討が、当初の我々の検討の中で抜けてきたというところが非常に申し上げたと決めるところで、
0:02:08	我々としては人工構築物というものは当社の例えば木 1 日部材のようなものが、
0:02:14	長期の状態設定の中で持たないと考えておりましたので、最初、これは当然設計のときには使うものなんですと言えなかったというところがございます。ただ、侵食というところの影響がどうかと言われたときに、
0:02:27	そういったものが施工としてあるので、また、紫外線の劣化度とか一般的に言われる劣化の中では、長期的な体制というのは、
0:02:37	期待できるということもありましたので、少しそれを出してしまったところが八つ等ございます。ただ
0:02:45	なかなかこの線の状態設定を説明するというところは非常に難しいところでもありますので、今後しっかりと我々の中でも検討を行って、論理的

	にトワーク内容で説明できるように対応していきたいと思っております。
0:03:00	今後ともきちよろしく願いいたしますで、確認したい事項なんですが、そういった方の経緯がありまして、我々、杉田坪内大和当初の設計の中で書くというふうにはしていたんですが、これ
0:03:13	人工構築物で長期の状態では期待できないというところがございますので、次の審査会合で出す施設石罅指摘事項の回答の中では、ここは設計の要件としては入れない方向で我々考えております。昨日の審査会合でも、
0:03:28	その辺の説明はどうかということと言われて、もし我々の中ではこういった人工構築物は言えないということで、対応したいというふうに言ったんですがそこは一応確認のため、
0:03:39	決めさせていただきます。その点について何かご意見とかございますでしょうか。よろしく願いいたします。
0:03:47	規制庁のスゴウですちょっとは、まずというか私の方からちょっとお伺いしたいんですけど、昨日審査会合の中で吸い出し防止材の機能に期待せずに、
0:04:02	評価をするようなお話があったと思うんですけども、その際には、今、衛藤線的新書腔については吸い出し防止材を理由として、
0:04:15	一応その起きないものっていうふうにしてるんですけども、通すその評価っていうのはどういうふうにされようとしてるのか教えてもらっていいですか。
0:04:28	二瓶正田清野コアシですありがとうございますまさにそういうところも確認したいと思っておりますで、次、進捗基準に対する1日の取材というのは、おそらく50年という間勤務、もしくはそれ以降少しの期間であれば、十分に効果を発揮するものであると思うんですけど、
0:04:48	1000年といった場合にはなかなか難しいと思います。なので、我々そういったものをうまく考えずに、例えば工事ですとかが起こったときに、湧水が生じると思いますので、そういったいろいろ、
0:05:02	生理的な公式のものが世間にはいろいろありますのでそういったものを引用して、
0:05:10	ある程度こうね、音オーダーでどのぐらい進捗が起こってそれを、
0:05:14	バリアを機能する期待した場合の機能に期待する期間の中でどのぐらいの侵食人、相当するかという評価を行います。これが保護層の、今我々施工としましては75センチを計画しておりますので、

0:05:28	それをどの程度削ってしまうようなものなのか、300年後或いは1000年後、そういったところの影響をまず確認して、
0:05:38	その表がなくなったからといって、すぐにベントライ今後どの系統姿勢が失われるということではございませんが、ただ保護層自体は、これ乾湿の影響ですとか矛盾の影響ですとか、我々のベントナイトの低透水性を
0:05:54	保護する役割を持っておりますので、そういった観点を踏まえて影響評価したいというふうに考えています。
0:06:01	規制庁のスゴウですよ。ありがとうございます。ちょっとすみません私がそこら辺の何ていうんでしょう。ちょっと若干素人的なあれなんですけれども、例えば
0:06:14	衛藤雨とか徐々に削られてくっていうのであれば何か降雨量とか、留守日照だとか、
0:06:24	そういう状況から何かできるのかなっていうちょっと気もしてるんですけど一方で、集中豪雨とかがあって
0:06:36	一昨年の伊豆の
0:06:39	江藤森野人工下モリタみたいのが崩れたとかあれは管理とかもされてないってのもあって、
0:06:47	設計とかもきちっとされてなかったものだと思うんですけど。
0:06:52	そういう週休豪雨とかあったときに、徐々っていうんではなくて、中に水が溜まったりして、ドバツとその覆土が崩れるようなことが、
0:07:04	いう可能性もあるんじゃないかなと。そうすると、
0:07:11	上のほぼ同数みたいのがなくなってしまっていきなりその、ベント内藤。
0:07:18	もう袋がむき出しになってしまって、最悪、廃止措置の開始直後にそんなのが起こってその状態が300円なんていうことも、
0:07:28	極端には考えられなくはないのかなと思ってんですけど、そう、そういう懸念に対しては、今どういうふうに考えてらっしゃいますか。ありがとうございます。最初の、
0:07:43	厳しい状態になるかと思うんですけど、その集中豪雨が起こったときに、まず浸食というのはどうかというのは、それはもちろん我々の方で考えてございまして、
0:07:53	可能性が高い厳しいと考えて、日比イマヅは厳しい状態というのと、最近の知見等も踏まえて、どれぐらいの東京だったときにどれぐらい節、
0:08:04	進捗が起こるかというのは評価手法を考える。

0:08:07	一方でそのあとに、ご指摘ありました例えば
0:08:12	大野さんに水がたまってきて、といったものが急にこうき出すような事象が起こって、
0:08:20	大野層が崩れるというような事象についてはこれは、今日以前、そういったコメントもあったかと思しますので、我々の方でも専門家を出しながら、
0:08:31	今の我々の設計の透水係数等、施工の必ず言っても、
0:08:38	基本的に水がたまってることはないという考えでございます。なので、急に噴き出して、厚労省を崩すというような事象は今のところを見ないであろうというふうに考えております。
0:08:50	以上です。
0:08:53	規制庁の十河です。わかりました。そこ、そういうことを評価されましたし、するのか、これからされてるのかわかんないですけど、そこは見させていただいて、かなと思います。はい。
0:09:13	わかりました。
0:09:14	衛藤他、
0:09:16	規制庁の方からちょっと確認したいとあってありますか。
0:09:23	衛藤規制庁の大塚さんとか山田さんとか、はい。すいませんはいすいません規制庁の大塚です。ちょっと今すでにご回答いただいたかもしれないけど念のための確認なんですが、
0:09:34	昨日の審査会合でのご説明ですと、吸い出し防止材の機能は見込まないという、ご説明だったかと思うんですけども、そもそも、突き出し防止材はもう設置しないという方針。
0:09:46	にするというところでよろしいですか。
0:09:50	園芸消火栓のコアシです 1日の時代は、施工の
0:09:54	適用上必ず施工、設置しますこれは曾我岩城らないようにという目的もでございますし、施工としては設置をいたしますただ、
0:10:04	埋設っていうのは普通の一般構造物と違って、長期の状態設定を説明するという観点で言えば、そこに機能を見込まないものは説明から除くという考えでございました。
0:10:17	ただ、そこをまだ懸念があってもしその施工として入れるものであれば必ず説明することということであれば、記載したいと思うんですが、いかがでしょう。
0:10:27	はい規制庁の大塚です。個人的には長期の性能に影響がしないということであれば、

0:10:35	特段説明はないでもいいようには思うんですけどもちょっとその点スゴウさんご意見いただければと思いますんで、
0:10:41	ちょっとそれとは別にですね、昨日の審査会合の中で、
0:10:48	衛藤隅田氏申し立てについては
0:10:51	廃棄物埋設地の
0:10:54	いろんな対策で、その自然事象をオミットするものに対してその対策のその健全性を説明してくださいっていうお話の中で、
0:11:03	吸い出し防止剤というのを入れますというのを、
0:11:07	新しくそちらがご提案してきたというふうにこちら理解していたんですけども、今のご説明ですと、そもそも吸い出し防止剤ってのは最初から入れるきだということですか。
0:11:19	日本原子力発電の小橋ですその通りでございます設備自体は施工で突然と設計の中に入れたわけじゃなくて、もう施工の段階で構想が、分けて施工ができるように、当初からいえる予定でした。
0:11:31	ただ、長期の状態は期待できないので、我々としては説明からは除いていたっていう経緯を踏まえ、
0:11:38	機械規制庁の大塚でございます。状況は理解しましてありがとうございます。
0:11:48	規制庁のスゴウです剃っカーヤマダさんからとかありますか。
0:11:58	ありがとうございます。
0:12:01	ちょっと私は一律、昨日のご説明を聞いていても、ちょっと日本原電さんがどういう方針でされてるのか、まだ
0:12:12	抜け落ちていないところがあるので一般浴を考えてご説明いただければと思いますけれども、と申しますのは、
0:12:23	規制の方で、1000年もたないものは最初っから見込むなとかそういうことを言っているわけではなくてですね、
0:12:33	いやそれこそ100年でも50年でもですねちゃんとその期間は有効、安全に寄与するものを入れるのはそれは入れた方がいいし、
0:12:45	ちゃんとする見込めばいいんだそうです。それを、この時間までは、こういう制度があります。この時間以降は、構成後は、翌日、ゼロになるじゃないけれども、見込めない。
0:12:59	可能性がりますとか、いうことで、順番に説明してそれと減衰との関係で、どういうふうに有効に性能、機能が発揮されるのかということの説明されればいいんだと思うんですけど、
0:13:17	極端にゼロイチ触れるようなそういうことで、

0:13:23	むしろなくて、現場にご説明いただければいいんじゃないかなというのが私のこれ私の思っていたところですが、
0:13:32	昨日のご説明ですと、非常にですねこれはもう見込めないんで最初から言うことにしますとかいうようなことを言われていたように聞こえて、
0:13:42	そこの方針がどうなのかなというふうな
0:13:47	同じ感想ないと申し上げませんが、あとは感じておりました。
0:13:52	これ1点です。それはいかがでしょうか。
0:13:56	日本原子炉風の話ですご質問ありがとうございます。おそらく各回には我々いきなり機能喪失してという話をしたので、話が少しややこしくなってしまったのかなと思います。大変申し訳ありません。
0:14:09	天田の状態設定として、何年間期待するというのは、昨日の審査会合でもありましたようにここは我々ちゃんと説明すべきところであって、特に黒野放射エネルギーたくさんこう、こういう施設ということもございますので、まず、
0:14:24	期待する期間を、その状態において、どういうふうな状態変化が起こって、バリア機能がどう劣化していくかというのを説明すべきだと思います。資料には、それが少し抜けているという点も秘書室ご指摘いただいたかと思います。
0:14:38	そこはちゃんと従前通り説明を行う予定です。ただ、例えばなんですけど1000年までじゃそのバリア機能を持たせなければならぬのかという点、
0:14:48	そういうわけではないと思っております、そこは厳しいシナリオの状態の中で、これは草刈野辺があるんですけど、バリア機能がなくなったといったときに、これが影響があるのかないのかという観点で、
0:15:02	基準線量を超えるか超えないかというのを、地表にして、我々が説明すべきバリア機能の状態設定の期間というのは、いつまでなのかというのを明確にしたいと考えております。
0:15:14	なぜ少し遠くに我々
0:15:17	こういった評価の説明をしてしまったので、
0:15:20	理解が
0:15:22	これがなかったことは大変申し訳ないと思うんですけどそういった考えでございます。いかがでしょうか。
0:15:28	わかりました。内部状態設定のところで、分析をした上で、評価のところはどう扱うかということでやっぱそういう順番にご説明いただければと思います。

0:15:40	それからもう1通、先ほどちょっとスゴウ等議論をされていたところについて少し引っかかっているか、感じがありますので、ちょっと申し上げさせていただきますと、
0:15:54	実は、のお話です。
0:15:57	で、
0:15:59	侵食量がいろんな一要因がありますけれども、一つのとらえ方としては、流速が侵食を受ける見解速度こういったときに、指示が起きるかそれを超えないと。
0:16:13	小さい目に少しの沈着があるというよりもむしろそこは閾値的に45位というのが、一つの理解があると思います。そうすると、平均的なあ。
0:16:25	年平均雨量をそんな使うとかですね。それから、普通の港を使うとかいうのでいいのかということですね、おそらく
0:16:37	その処分場が、そうやってライフタイムの間で段階も経験するような降雨、こういったものは想定に入れるのがむしろ普通だと、先ほど
0:16:50	厳しい状態設定だとおっしゃいましたけれども、むしろ、そう。
0:16:56	じゃないんじゃないのかな。
0:16:59	その地域が今まで経験したことのないような豪雨みたいなものはですね、そういった設計に入るかもしれませんが、
0:17:08	代表がね何回か書きますという時に経験するような降雨というのはむしろ、普通の選定の中に当然入るべきなのではないかなと思ったのが一つです。それからもう一つ、
0:17:21	統制件数等想定をして水がたまることはないというふうにおっしゃったんですが、よく打とうご検討いただきたいのはその、
0:17:37	どういう特性、それぞれの層が特性物かっていうのはですね、いろんな幅があると思うのでそこをよく考える。
0:17:48	考えた上で、ご検討いただきたいと思います。例えばですね、
0:17:54	し、
0:17:55	新保掘削抵抗性層ですから、ここその内部からのど粒子が入ることを想定をして、同じ程度の透水係数とするとされていますけれども、
0:18:07	SURCすると最初はですね、結果が二つぐらい大きいような透水性を示す実用排水槽として働くんじゃないかと思います。その上で、そこに、
0:18:22	どういう人が入ったときにどうなるのかで、今、検討すべきなのは、
0:18:32	途中のいろんな段階ある中ではそのクリティカルな状況になるのかということだと思いますので、

0:18:39	核種移行の評価に使う。
0:18:44	なんていうか、
0:18:47	平均的なというか、それでやっておけばいいけど安定性を検討していけばいいということではおそらくないと思いますので、
0:18:55	条例設定も含めて、その幅の中でどう考えるのかということを検討することが必要かと思います。以上です。
0:19:05	日本原子力発電のコアシです。ありがとうございます。最初の沈着に対する降雨強度については、おっしゃる通りかと思いましたがのちちょっと、可能性が高いところ、平均的なものという、こうやってしまったのかもしれないんですけど、
0:19:20	おっしゃるように臨界流流速を考えれば、まずは普通に起こり得るタイプ等の状態というのが、侵食の影響として考慮すべきもので、
0:19:30	厳しいといったらもうそれがかなり保守的にメーカー起こってしまうようなものになるかなと思いましたが。ありがとうございますその辺はもう、もし我々のケアの評価の中でも考慮によって説明できるようにしたい。
0:19:43	二つ目の掘削抵抗性層の話なんですけど、これ今回の審査会合でも我々、浸透流解析、ヤマダさんからコメントいただいている方向のところの条件がおかしいのではないかとこのところも見直して、
0:19:58	今度提示させていただく予定なんですけど、この掘削抵抗性等についても、EPAのガイド等との比較で、やはり役割としてしっかり説明すべきであろうということは考えております。具体的にはですね、
0:20:11	実際のこの掘削抵抗性するにはやはり排水という、この水を把握機能が、役割があると考えておまして、
0:20:21	実は言う、松永この碎石詰まったときに、防水試験なんかもやっておまして、我々厳しく見れば、
0:20:32	周辺道路と同じく10のマイナス4乗というふうにはしているんですけど、実際の試験というところではそういった問題にはならなくて、もう少し設備の大きな、そういったものを踏まえて、
0:20:43	すごい状態であるのは見直したものでご説明させていただこうと思おまして、そういった中の説明を
0:20:51	しながら、少し水がたまるかたまらないかというところは見ていただければと思います。以上でございます。
0:20:58	はい。よろしくお願ひします。

0:21:02	規制庁の盛田です。今のところに少し関連して私の方からも少しだけ1点だけなんですけれども、降水があった時のその侵食っていうところを、これから検討されるということところなんですけれども、
0:21:17	その浸食する表現の形状っていうところをどのように想定するかっていうところについては、十分にご検討いただく必要があるかなというふうには思います。
0:21:28	というのも、実際今回このような砕石を上には置いている状態で、もしそれを想定した状態で、
0:21:38	侵食の解析をするのかっていうところになると、またそれをどういうふうに想定するかっていうところが問題いきますし、また裸でやるのか、弱上にならないような状態にするのかっていうところについても、
0:21:54	そのような想定にするのが
0:21:57	確からしいのかっていうところだったりとか実際どういう想定をするかっていうところは最初に前提として重要になるかと思いますので、そこは十分に詰めた上で、
0:22:08	評価をして進捗するかしないかというところについて検討いただければなというふうには思います。
0:22:14	私は以上です。
0:22:17	ありがとうございます。日本原子力発電、コアシですありがとうございます。実はもう検討を並行して進めておりました、今のその最初の条件というところに関しましては、我々高校の周りを囲むかな。
0:22:31	本当か心材というものはなくなると思うんですが、中野石井ですが最終的なものはこれ花崗岩の割り振りし用いますので、基本的に風な
0:22:43	影響を考慮しても、すべてが
0:22:45	埋設地のメーカーがなくなるということは考えておりません。これは残るので、そういった中で、等が起こった時にはまず、そういった構造が方向の、その採石で、
0:22:58	そこで保障の上に流れをつくった技術入所させるんだらう、厳しい条件でおけば
0:23:07	台風等が追って
0:23:10	業務の中で、エンターで来てくるのかというのを検討しようと思ってまして、そういった条件で今進めてございます。以上です。
0:23:19	センターの丸田ですご説明いただきありがとうございます。どのような検討されてるかというところにつきましては理解しました。ただ
0:23:28	今回今ご説明いただいたところではその上2枚強い採石は残ったような形で水の流れを計算するというような形になるかと思っておりますけれども、

0:23:40	そうしますとその碎石をどのように配置していくかっていう障害物のような形で石が置いてあるような形でその上を見、その間を水が流れていくような形になるかと思えますけれども、
0:23:54	実際どういう配置にするかってやったりとかどういう水の流れを想定するかっていうところで、結果でも大きく影響するような印象は受けますので、その辺りについても10分、
0:24:05	どういう想定をしてどういう理由で想定をして、結果がやられてるかっていうところについては十分ご検討いただいてご説明いただければというふうに思います。以上です。
0:24:18	日本原子力安全の小橋です。なかなか配置というところになると、説明して論理的な説明書を考えて少しその辺を説明できるように検討していきたいと思います。なかなかこれ、
0:24:30	難しいところではありますが
0:24:33	やらせていただきますありがとうございます。はい。難しいっていうところは私も言うてはいるんですけども所長してるところではありますが、
0:24:43	空想上の想定でこうやってみましたっていう形だけだと、なかなかちょっと本当なのっていうところに落ち込んでしまう可能性もありますので、そこについては十分難しいと承知しながらも、ご検討いただく必要があるかなとは思っていますので、
0:24:59	お願いいたします。
0:25:04	併用原子力安全のコアシです。基本的には
0:25:10	下が影響を想定して検討を進めたいと思います。ありがとうございます。よろしくお願いいたします。以上です。
0:25:21	はい。規制庁のスゴウです掘っかーよろしいですかね。
0:25:26	衛藤。
0:25:28	はい。
0:25:30	侵食の評価されるってことで
0:25:36	今盛田からもあったようにその上に奥医師、テスラもどうやっておくかとか、
0:25:43	当間侵食の程度の話もさっき私からも言いましたけれども、なかなかを想定するにしてもその想定が本当に、
0:25:54	確からしいのかとかっていうのを、なかなか判断していくっていうのは、結構難しいんじゃないかなっていうふうに、ちょっと直感的な感じではあるんですけど、思ってるっていうのが正直なところですね。

0:26:09	一方ちょっと前々から常も審査会合で話もしましたけどE P Aのガイドとかと比較したときに、
0:26:21	なかなか何ていうんでしょう、独自性もあるというか、設計が独特というか、
0:26:32	かなっていうふうにちょっと思ってますね。
0:26:35	例えばその侵食にしてもう上に植生、
0:26:42	を置くとかっていう方法があったりとか、中に入ってくるあの水について、i水槽を設けるとか言うても、E P Aのガイドを見れば書いてあるんで、
0:26:54	そういうその選択肢もあり得るのかなと思ってますね、我々もそういう風鈴な設計であればある程度、
0:27:05	そうだよねっていうところから、すんなり入っていけるところもあるとは思いますが、そういうこと等についてワー、あれですかね。
0:27:16	検討はされてないのでしょうか。
0:27:22	小学生の倉地です。ありがとうございます。実はそういったところについても、検討はしております、ただ
0:27:30	弊社資料の会合、審査資料の中で次回の資料の中では設計変更ということには触れなかったんですけど、当然この侵食の影響を評価していく中で、長期の影響というのがかなり、
0:27:42	説明が難しそうだと影響は多分ないんだろうけど、責任が難しいということになると、設計変更というのは、考えなければならぬんだと思っております、今申しあげましたような例えば植生ですとか、
0:27:55	或いは厚労省の協議もちょっとうちとしての流出を、
0:28:00	抑制するようなフィルター酢を適用するとか、そういったことを、並行して考えておりますので、
0:28:08	結果としてそういったところに
0:28:12	転がる可能性はあるんですが、まずは我々、進捗の影響というのは、
0:28:18	定量的に評価できないかというところには挑戦をして、場合によっては、納得いただけるような設計に少し見直しをして、そういうことも対応していきたいと思っております。
0:28:28	以上です。
0:28:32	規制庁のスゴウです。それ何ですかね、進め方の考えはわかりました一応その設計変更の、

0:28:42	可能性もあり得るってということで、ただし、まずはちょっと侵食のところの評価っていうところで、ちょっとチャレンジしたいっていうところはわかりました。
0:28:52	一方で、もしかしたらというか、そうですね。もしかしたら侵食のところさっきも申し上げた通り、なかなか
0:29:08	原電さんの方での検討もう難しいかもしれないしそれを妥当と判断するのも、
0:29:15	我々の方も難しいかなっていうふうにちょっと思ってた、であればちょっと早めにその設計変更の方も、早めにというか重点を置いて、
0:29:28	検討を進めた方が、いいのかなというかそっちも
0:29:34	大きな選択肢の一つになるんじゃないかなと私は思ってるんで、そういうのも含めてちょっと検討今もされてるって話でしたけれども、
0:29:47	進めていただければと思います。
0:29:51	夏井本橋です。どうもありがとうございます。どうも。
0:29:56	以外は植生評価という話をしたときに、植生についても選択してあり得るってことを言われていたので、我々それは視野に入れて検討を進めておりますので、
0:30:08	確かにそうですねその病院で評価は、それが妥当かという判断も難しくなるのかなというところがございますので、
0:30:17	ご助言いただいた通りも踏まえて、少し我々で、
0:30:21	検討を進めたいと思います。ありがとうございます。
0:30:26	規制庁の営生です。何か
0:30:30	今の設計の話とかで、規制庁側から、
0:30:35	もしコメントあればと思いますが、ありますか。
0:30:44	よろしいですかね。
0:30:47	そうしたら、次回の会合の件なんですけれども、昨日の資料だとます。
0:30:59	すいません資料の資料だと、ベントナイト混合度の施工成立性の話をされるって古藤なんですけれども、
0:31:10	と、ここは今のところ変わらないですかね。
0:31:15	名称暫定に関してです。次回の審査会合に向けては13条の2号の設計のところ、来本合同の設計の成立性のところですか、
0:31:28	あと新旧解析のところコメントを指摘をいただいているところに対応したもの、その他もろもろ説明がされてないというところは追記したもので、まず説明したいと考えております。それに加えてですね。
0:31:40	10月4日の審査会合でもコメントいただいております三条の地盤と、

0:31:47	第五条の津波の特にセメント改良で行ってるところの仕様の説明ですか、あと 17 条の事故が起こったときも、具体的な対応方針を説明して欲しいと言ってきコメントを受けておりますので、
0:32:01	この 35 条と十四条についても、あわせて説明をさせていただきたいと考えております。以上です。
0:32:11	規制庁のスゴウですわかりましたじゃ。
0:32:14	ですね、昨日の資料に、
0:32:18	あと
0:32:20	施設設計以外のその他条項は今 5 月とかっていうふうに書いてましたけれども、
0:32:28	それでもあれですかねその他の指摘事項の回答っていうのが、今おっしゃられた話になるんですかね。
0:32:38	農業者数も詳しいです。すいません説明の中で多分抜けたかもしれないけどその通りでございます。
0:32:46	規制庁の宗です。わかりました。そしたら、それも含めて 3 月上旬ぐらいに、
0:32:56	今資料を提出したいということによろしいですか。
0:33:06	病床数のプラスです。資料の提出については、今考えておりますが、2 月 22 日提出したいと思っております。
0:33:15	以上です。
0:33:19	伊賀辻。
0:33:24	規制庁のスゴウです 2 月に第 1 週間をですね、その 2 月 22 日に、今おっしゃられた、
0:33:35	ベントラインと混合度の成立性も含めて、その他浸透流解析だとか、他の条文のところも含めて、
0:33:48	意識が 22 日に提出予定ということによろしいですかね。
0:33:53	日本原子力発電に関して 1 回言いますと、13 条の施設設計のところ、ベントナイト混合の成立性のところ、あとは、浸透流解析を含めた設計のところですね、
0:34:06	はまず一つ、まず三条と非上場と十四条について指摘事項を回収したものを、延長を 20 日意識で提出させていただきたいと考えております。
0:34:19	はい。規制庁麻生です。わかりました。
0:34:24	22 日に提出ということによってちょっとそれに基づいて、ヒアリング等の
0:34:34	調整もこちらでしたいと思っておりますので、具体の、また日程等はですね、追ってご連絡差し上げたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

0:34:47	そろった方ありますでしょうか。
0:34:52	権藤井口でございます一つ確認をさせていただいた方がございます。清 関井侵食部の評価のところなんです今検討してるところでございます けれども、今日場なんです今我々考えというのはアメリカのULに掲載 されてます。
0:35:11	式を求めるかと考えております。ですので先ほどの盛田様からご指摘、 ご懸念がありました採石がどのように配置されてるかとかですね、碎石 の中をどのように水が通っていくかというところは、
0:35:25	そう表現できないというふうに思ってます。そこは、上にどういうもの があるかっていうところを、係数パラメーターで設定することになって ますので、それをもう一度ご説明しようという考えでありますけれど も、
0:35:38	こういった考えでは行っちゃうかなというふうにちょっと感触だけお伺 いしたいんですけど、いかがでしょうか。
0:35:48	北野モリタです。衛藤持田がご説明ありがとうございます。そのやり方 として、先ほど私が述べたやり方っていうのは一つのやり方であって、 必ずしもそれでは、
0:36:02	いいところではないもの、ないかと思えます。すいませんちょっ と今いただいた、説明いただいたところっていうところが私もまだ承知 はしないところなんですけれども、
0:36:15	実際の係数を掛けてやるっていうやり方も一つあるかと思えますので、 そこについては十分にその状況であったりとか、上に構造物があるって いうところを表現して、それに適したケースを設定できる
0:36:33	っていう知見がある。それを手、使用した。
0:36:38	解析表現というところになっているのであれば、そこに十分な説明性が あるのであれば、それが駄目っていうようなものではないかと思いま す。あとはそれを今回尺を設置してるっていうところの構造に対して、
0:36:52	適用できるのかっていうところをその説明があるかどうかっていうと ころが十分なポイントになるかと思えます。
0:37:00	感触としては以上です。
0:37:05	現状通りでございますご回答ありがとうございました。それと説明性が 十分あるように資料を作っていくしたいと思いますよろしく願いま す。
0:37:18	規制庁のスゴウです他規制省側からもよろしいでしょうか。
0:37:25	規制庁の引間です。もし、はい。
0:37:33	今の話でよろしく願います。延長で、

0:37:37	侵食の影響評価の検討っていうのが昨日審査会合では3月末に出ると。
0:37:45	言ったところっていうのは、昨日の審査会合の結果を踏まえてもそれは変わらないという理解でよろしいですね。
0:37:56	基本現象改善の投資ですまずは定量的な評価をさせていただくというのを3月末に提出できるように、今進めております。その予定は変わりありません。変更なしということで理解しました。ありがとうございます。
0:38:16	規制庁のスゴウです。他よろしいですかね。
0:38:20	もうよろしければ、以上でヒアリングを終わりにしたいと思います。ありがとうございました。
0:38:29	おはようございます。お願いします。